報　告　書

日時	令和７年７月11日㈮～12日㈯
活動名	第71回関東地区高等学校PTA連合会　埼玉大会
参加者	大沢厚子　中里奈々　中村晃子　樋口由美
報告者	樋口由美　中里奈々

報告内容

《埼玉大会メインテーマ》「対話を通し明日を拓くPTA」
P:ポジティブに　T:対話を重ね　A:明日を拓く

『大会１日目』(分科会)　大宮ソニックシティ大ホール
受付後、会場にて映像アトラクションとして、埼玉県高校放送コンクール･NHK杯全国高校放送コンテスト等で入賞した6校の作品を鑑賞。上映時間4分半～8分ぐらいでしたが、どの作品も力作で魅了されました。
■第2分科会
◆組織の活性化とPTA
［提案発表校①］神奈川県立麻生高等学校
「立候補したくなるPTAにするために」
☆PTA 役員選出:任期 1 年で事前アンケートをもとに毎年役員決めを行う　。在校生保護者には、事前に電話での呼びかけ(お手紙にてあらかじめ連絡･確認後)→継続5名･新たに9名の14名
新入生保護者には、入学式後に副担任が生徒をクラスへ移動、担任と保護者が空きクラス移動し、落ち着いた雰囲気での説明→立候補者24名
2025年度は役員総勢38名となる
☆「入りたくなるPTA」を目指した活動の取り組みとして。
ヴァイオリン体験授業:学校所持のヴァイオリンを使用。～役員の思い出を形にできる
制服のリサイクル運動:学校と保護者と共に実現の方法を考える体制作り
PTA 室の資料整理整頓:PTA 活動を「見える化」、活動しやすい環境を整える
かわら版の発行:入学資料にて配布し、どんな思い･目的･楽しめる PTA が伝わるように毎年工夫を重ねる
その他にも、生徒と一緒に周辺環境整備や合唱祭の PTA からの表彰など行っている

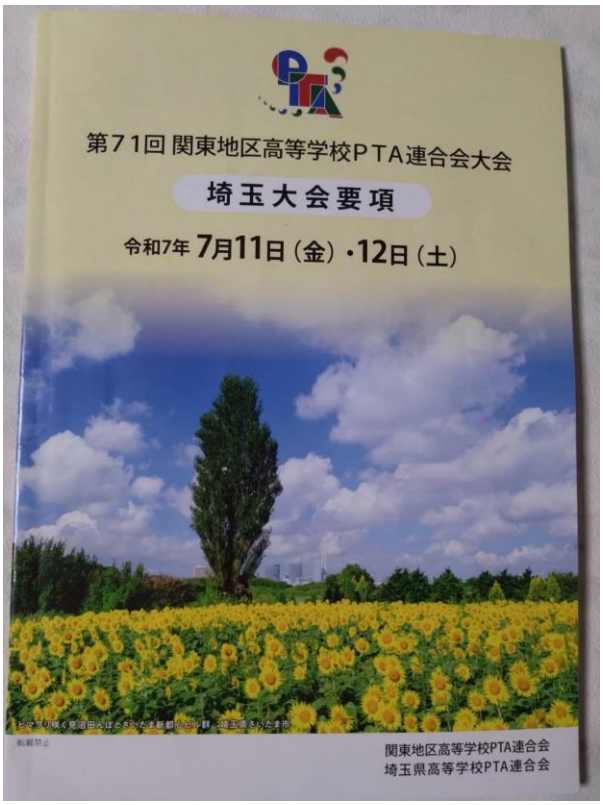
最後には、「活動を通して自分自身の成長を感じると共に、仲間の素晴らしい才能を知ることができ、保護者が楽しむことで学校をさらに明るくしていきたい。」と発表者全員でカラフルな団扇などで元気にアピールし舞台が華やぎました。

◆進路指導と PTA
［提案発表校②］栃木県立佐野高等学校･同附属中学校
「納得できる進路指導の実現のために」
☆PTA組織:中高一貫校で中学･高校ともに3年任期。登校範囲が広く、6 中学校区(支部)に分け、支部毎 2 名✕6 支部✕6 学年。
総務部　*高校から会長✻中学から会長代理、本部役員会は年 6 回
サポート部(一貫)　オリジナルグッズ(毎年企画)･生徒の活動の応援(文化祭:PTA グッズ販売→クッキー、T シャツ、タオル等→売り上げは生徒会へ寄付)
高校研修部　受験への関心→近県の大学の視察等
中学研修部　大人の社会科見学(保護者の親睦)
広報部(一貫)　7 月と 3 月に情報発信

◆2 校ともに学校の特色を活かしており、生徒も学んでいる学校所有のヴァイオリンを使用しての体験授業はとても興味深く、また中高一貫校ならではの 6 年役員と独特な組織運営に驚きと発見を感じました。
コロナ禍以降、どの学校の PTA も課題にしている現活動の見直しを丁寧にすすめており、特に役員選出に向けての悩みは同じで、取り組みからは心の負担を少しでも軽くしたいという気持ちが伝わりました。

『大会 2 日目』(全体会)　大宮ソニックシティ大･小ホール
◆舞台アトラクションとして、埼玉県立大宮高等学校音楽部による混声合唱にて生徒による生き生きとした演奏が披露され、会場内は大きな感動に包まれました。
◆大会行事後には、第 170 回芥川龍之介賞受賞作家の「九段理江」氏をお迎えし、『対話を終わらせないために』の演題で記念講演会が行われ、九段さんの人生の歩みと芥川賞を取るまでをお話しされました。
ご両親の都合により埼玉県内を 10 回以上も引っ越しされた中で、5 歳の時にお母様が購入した Windows95 と出会ったことが大きなきっかけとなり、ブラインドタッチでシンプルな機能を使用し文章をかくようになる。14 歳の時、転校先で不登校となるが三島由紀夫の作品と出会い、純文学とのめり込む。その後大学～就職を辞めて執筆活動をはじめる。
純文学という芸術の前には明確な定義などおこがましいですが、とおっしゃりながらも、エンターテイメント文学とは違い、ゴールがないのが純文学と話されました。

また、アウトプットを習慣として大事にし、言葉にすると記憶が固定化してそれが人によって異なるため、自分の言葉が相手にきちんと届いているのだろうか？と常に１つ１つの言葉を吟味している。異なる価値観を協和させていくことが対話で確信は無く、とても勇気が必要だけれども正解がないことを受け入れ、立ち向かうために少しでも共有できる物語を考えていきたい。と話しを結ばれました。

◆九段さんの飾らない語り口にお人柄を感じると同時に、言葉の選び方がとても丁寧かつ繊細で魅了されました。確信を持たない勇気が必要な事と、対立が生まれることが豊かで祝福すべき事、と教えていただきました。

今回埼玉大会に浦和西高の代表として、貴重な機会に参加させていただきましてありがとうございました。